



足立区教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

## 足立区立花保中学校

### 取組, 1 花保未来ラボ ～キャリア教育の充実～ 〈総合的な学習 5時間〉



9月の土曜授業②校時～③校時に全生徒対象の職業講話を実施する。16種の職業人、大学生、専門学校生などを講師として招聘し、1講座約15人（1学年5人程度）で講演を聞き、一人2講座受ける。司会進行は3年生が行い、中学生としての視点から講義を捉えさせる。企画および運営は学習・進路部で担当し、4月から7月で職業人の人選・折衝、会場準備などに当たる。生徒には事前に希望をとり3年間で6講座を受け、将来の職業選択に向けた知識の習得と視野を広げ、適性のある職業選択するための足掛かりとする。

### 取組, 2 南花畑食糧対策委員会(MFC) ～フードロスなくす取組～ 〈ボランティア活動〉



コンビニエンスストア主催の「フードドライブ」（余った食料品を来店者から預かり、無償で生活支援を必要とする方に配布する取組み）に参加する。本校では学校運営協議会（コミュニティ・スクール）・ボランティア部部員がPCを使って食料品をデータで管理し、円滑な食品提供ができるよう活動をする。

また、令和7年は、学校敷地内での稲作や野菜作りを体験し、食について興味関心を持たせる。

### 取組, 3 エネルギー環境学習会 〈社会科、理科、技術科 全3時間〉



現代のエネルギー生産のしくみ、環境問題とのかかわり、化石燃料を用いた発電から未来に向けた持続可能なエネルギー源への移行など、様々な角度から考えていかなければならないこの課題を教科等横断的な視点で取り組む。発達段階に即し、話し合い活動等を取り入れ計画する。身の回りのすぐに行えることから、未来に向けた持続可能なエネルギーについて考える授業を実施する。令和7年度は、1年次水力発電（魚沼自然教室において奥只見ダムについての学習）、2年次風力発電（サボニウス発電の実験）、3年次太陽光発電について学ぶ。

## 取組, 4 福祉プロジェクト〈総合的な学習の時間 各学年2時間〉〈ボランティア活動〉



1年次では障がい者の子を持つ母の話聞く会・車いす体験、2年次では認知症サポーター養成講座、3年次では高齢者声掛け訓練を事前学習1時間、体験学習1時間で実施する。また生徒会を中心に、都立花畑学園と行事を通じて交流する。これらの体験を通じて、障がい者や介護に関する理解を深め、「差別のない社会」や「安心して暮らせる街」づくりへの意識を高める。また保護者、開かれた学校づくり協議会委員、学校運営協議会委員にも参観を呼び掛ける。

## 取組, 5 TSR（登校サポートルーム）の充実



令和元年に開設した登校サポートルームは、登校サポーターの支援のもと、生徒が自らの判断で自由な時間を過ごす場所として位置づけられていた。そのため利用する生徒は主に自習や読書をして過ごしていた。令和6年10月より室内の大型ディスプレイを用いた授業のオンライン化が可能となり、また登校サポーターの在室時間も拡充された。令和7年度より、①安心して過ごせる場所の機能②学習教材の充実③登校サポーターによる学習支援を兼ね備える教室とし、「誰一人取り残されない」教育を実践していく。

